



聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

St. Marianna University
YOKOHAMA SEIBU HOSPITAL 2026

臨床研修医募集要項



聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町1197-1

TEL:045-366-1111 (代)

臨床研修センター

E-mail: seibu-soumuka@marianna-u.ac.jp

ホームページ: <https://seibu.marianna-u.ac.jp/recruit-site/resident/>



Find your future

西部病院は「よこはま21世紀プラン」の一環として聖マリアンナ医科大学の附属病院で、横浜市西部地域の中核病院としての役割を持ち、さらに大学病院のもつ高度な専門的医療を提供する総合的な医療機関として地域住民の健康保持と疾病予防に貢献しています。あなたの目指す医療環境がここにあります。

GREETING ご挨拶

聖マリアンナ医科大学は1971年に設立された、我が国唯一のキリスト教的理念を建学の精神とする医科大学で、50年にわたり愛と奉仕の精神に満ちた医師を数多く養成してきました。当院は、その附属病院として1987年5月に横浜市西部地域の中核病院として開院し、地域の医療を担うとともに、医師をはじめとする多くの医療人の教育施設としてもその役割を担ってきました。

当院の特徴は、先進かつ高度な医療を実践するとともに、多様な症例を経験できる「市中的大学病院」といえます。25の診療科と救命救急センター、周産期センター、こどもセンターなど7つのセンターは、各種学会の認定教育施設にもなっており多くの指導医、専門医が日々診療・教育・研究に従事しています。従前より初期臨床研修の充実に取り組んでおり、2015年には基幹型臨床研修病院となって他施設での研修を幅広く受けられるようになり、2018年にはプログラムや指導体制の充実などについて評価・認定する卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認定を受けるなど体制作りにも取り組んでいます。

また、市内をはじめとする多くの研修協力病院と連携をはかりながら他施設での研修も行っています。地域医療研修では、鹿児島県、石川県、福島県、千葉県などの医療機関において、その地域に根差した医療を体得することができ、例年有意義な時間を経験しています。

初期臨床研修医としての2年間は多くの実践的な医療知識・技術を得、医師としての基礎を築くとともに、その後の成長に大きく影響する重要な期間です。その貴重な時間を熱心な指導医と病院スタッフとともに過ごし、有意義な研修を積んで、患者さんから信頼される医師をめざしていただきたいと思います。

私たちの病院の理念「『生命の尊厳』を重んじ、常に病める人の声に耳を傾け、癒すこと」のもと、皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。

Greeting



聖マリアンナ医科大学
横浜市西部病院
病院長
明石 嘉浩

未来はその手に。

地域医療を担う

大学病院

Philosophy

■ 病院理念

「生命の尊厳」を重んじ、常に病める人の声に耳を傾け、癒すこと

■ 臨床研修センター理念

医師としての強い使命感と優れた臨床技能を持ち、病める人を救うことのできる良医を育成する

■ 基本方針

1. 日常臨床で頻繁に遭遇する疾患から専門性の高い疾患、救急疾患まで幅広く研修する。
2. プライマリケアに関する基本的診療能力を修得するとともに、全人的医療の実践に努める。
3. 全職員との交流を通じて多職種が連携したチーム医療を実践する。
4. 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院群として、基幹型臨床研修病院、協力型臨床研修施設が密接な連携を保ちながら、研修医のキャリアデザインに合った幅広い研修を行う。
5. 研修医が臨床研修センター運営委員会に積極的に参加し、研修環境や研修内容の改善に努める。
6. 後期研修および将来的な学位・専門医の取得を見据えた初期臨床研修を行う。

■ 建学の精神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の育成



センター長
小林 俊也
(心臓血管外科)



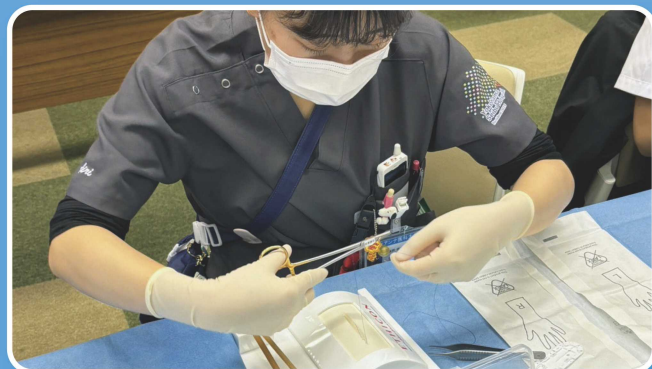
プログラム責任者
中村 歩希
(脳神経外科)



副センター長
松本 伸行
(消化器内科)

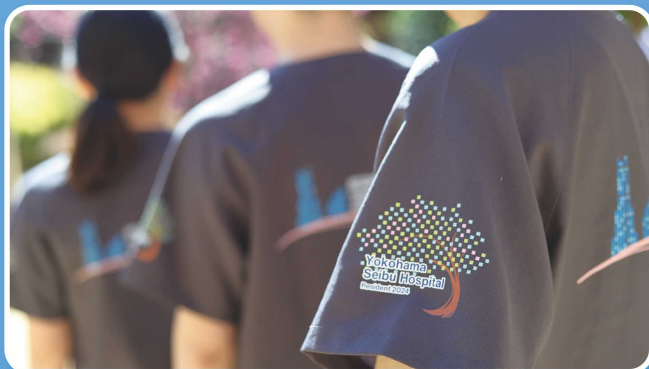


副センター長
萩原 悠太
(脳神経内科)



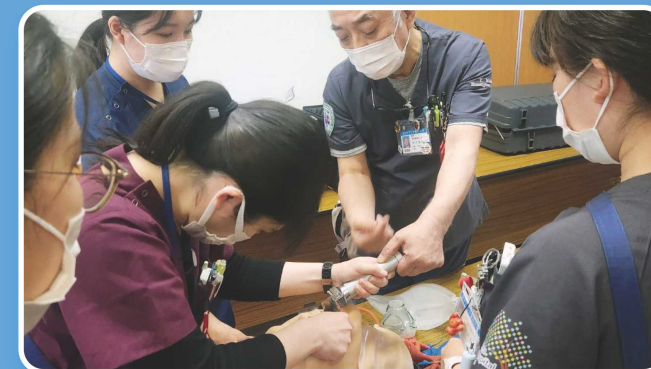
一般的疾患治療から高度治療まで

日常診療において遭遇する頻度の高い疾患のみならず、臨床研修指導医のもと専門的かつ高度な医療を研修。救命救急センターでは、救命のための first aid measures から集中治療も含めた3次救急医療までを経験できます。



キャリアプランに合わせた選択

2年目は、自由選択の研修プログラムであり、聖マリアンナ医科大学病院臨床研修病院群も含めた研修も選択でき、いわゆるマイナー診療科などをキャリアデザインに合わせて選択も可能です。



1年目に内科や救命救急まで経験

内科を中心とした総合診療を目指した研修プログラムに加えて、手技・処置を体得するため救命救急センターと麻酔科を必須プログラムとしています。当直では、ローテーションの診療科ではなく、救命救急センターの当直を通じて、救命救急の臨床の場で必要とされている自分を実感。



地域密着型大学病院の医療を体感

その他、月に2回の各診療科による持ち回り制のセミナーや、活発な議論を行う場として、先輩医師や同僚とのコミュニケーションの重要性を学べます。さらに西部病院地域連携ネットワーク(M-net)を通じて、一丸となって地域住民のアメニティーライフを演出し、地域密着型病院の必要性を体感。

選 択 科

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

内科
8科

血液内科 / リウマチ・膠原病内科 / 腎臓・高血圧内科 / 呼吸器内科
消化器内科 / 循環器内科 / 代謝・内分泌内科 / 脳神経内科

必修科
8科

必修内科(上記より選択)
外科(消化器・一般外科 / 心臓血管外科 / 小児外科 / 脳神経外科 / 整形外科5科より選択)
小児科 / 産婦人科 / 神経精神科(聖マリアンナ医科大学病院、あさひの丘病院、長谷川病院)
救命救急センター(3ヶ月)/麻酔科(2ヶ月)
地域医療研修(1ヶ月または2ヶ月) ※研修施設については、地域医療研修施設よりご確認ください

選択科
計25科

上記内科8科 / 小児科 / 消化器・一般外科 / 心臓血管外科 / 小児外科 / 脳神経外科
整形外科 / 形成外科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 産婦人科 / 眼科 / 耳鼻咽喉・頭頸部外科
麻酔科 / 放射線科 / 救命救急センター / 病理診断科 / リハビリテーション科
※並行研修として行う外来研修は、地域医療研修等でも行います。

研修スケジュールにおける基本的留意事項

- 地域枠での研修先は、希望を聴取したうえで調整しますが、希望者が多く調整が難しい場合は抽選となります。
- 研修2年目の選択科において、やむを得ず研修先の変更を希望する場合は原則、変更を希望する期間の初日・2ヶ月前までに臨床研修管理委員会宛に申請してください。申請に際しては、指定された書式に従って、変更理由と変更したい期間、変更する診療科(新・旧)を記載して下さい。本人と面接したうえで、委員会で審議し認められた場合は、原則として2回まで変更することができます。
- 1年目の研修順序は、希望を踏まえたうえで決定します。
- 選択科は、各施設の診療科より選択できます。
- 地域医療施設は、各病院のプログラムにより異なります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年次：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院											
必修 64週											
内科 8週×3						救急 12週		麻酔 8週		小児 4週	

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
2年次：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院及び協力型病院・協力施設											
必修 64週				選択科 32週							
外科 4週	産婦 4週	精神 4週	地域 4週	選択 4週	選択 4週	選択 4週	選択 4週	選択 4週	選択 4週	選択 4週	選択 4週

基幹型
病院

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

連携施設

聖マリアンナ医科大学病院 / 川崎市立多摩病院 / 横浜旭中央総合病院
聖隷横浜病院 / 新百合ヶ丘総合病院 / 神奈川県立がんセンター
稲城市立病院 / 亀田総合病院 / 横浜労災病院 / 東京ベイ・浦安市川医療センター

特別連携
施設

聖ヨゼフ病院 / 左近山中央診療所 / オカダ外科医院 / 静岡医療センター

到達目標

内科領域全般についての診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈および治療方針を決定する能力、基本領域専門医としてふさわしい態度、プロフェッショナリズム、自己学習を習得すること。



内科専門医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	● 内科専門医研修 ● サブスペシャリティ診療科研修											
2年次	● 連携施設・特別連携施設での研修 ● 基幹施設での内科専門医研修 ● サブスペシャリティ診療科研修											
3年次	● サブスペシャリティ診療科研修(充足していない領域をローテーションする場合あり) ● 修了認定											

協 | 力 | 病 | 院



聖マリアンナ医科大学病院

病床数955床を有する特定機能病院であり、common diseaseから、専門性の高い疾患、1～3次までの救急疾患を幅広く研鑽することが可能です。



川崎市立多摩病院

川崎市が設立し、聖マリアンナ医科大学が指定管理者として運営する病院であり、市中病院と大学附属病院の2つの役割を担っています。病棟だけでなく、救急災害医療センターにおける診療を数多く経験することで、急性期から亜急性期まで対応できる幅広い診療能力を身につけます。



東名厚木病院

地域の中核病院として急性期医療を担っています。厚木市の救急搬送の半数以上を受けもち、年間4,000台以上の救急車を受け入れています。プライマリーケアを習得するには充分に量と質、指導体制を整えています。



聖隷横浜病院

367床、診療科34科のケアミックス型の病院です。横浜市の救急の輪番病院として、毎年4,000台を超える救急車を受け入れるなど、救急医療にも力を入れています。また当院は、循環器科と脳神経外科を24時間365日対応しているため、一般症例から救急症例まで幅広く症例を経験することが可能です。



横浜旭中央総合病院

病床数515床・標榜科30科で構成され、2次救急指定病院として月平均700台の救急車を受け入れております。豊富な症例・手技を経験でき、急性期・回復期を備え一貫した医療を学べます。



聖ヨゼフ病院

2020年新棟が完成しました。急性期病棟以外に、地域包括ケア病棟、療養病棟があり、それぞれの病棟の特性を知ることができます。一般内科がメインですが一部リウマチ・膠原病の専門疾患が含まれ、同時にこの分野の研修が可能です。外来では、内科初診患者を担当します。また、訪問診療にも参加いただきます。



国際親善病院

地域の基幹病院としてcommon diseaseを多く経験できることが特徴です。初期研修のうちから、一般的な愁訴・疾患に対しそれぞれの初期診断・初期対応を行う機会に恵まれております。



戸塚共立第1病院

「寄り添う医療を提供する」地域密着型の医療を目標に掲げ、急性期医療から在宅医療までのトータルヘルスクアを展開しています。少人数の環境で、実践的な学びが可能です。

研修協力施設

- 長谷川病院 [東京都三鷹市]
- あさひの丘病院 [横浜市旭区]

地域医療研修施設 (近隣協力施設)

- 左近山中央診療所 [横浜市旭区]
- オカダ外科医院 [横浜市旭区]
- めぐみ在宅クリニック [横浜市瀬谷区]
- 赤枝病院 [横浜市旭区]
- 横浜甞生病院 [横浜市瀬谷区]
- ※ 聖ヨゼフ病院

遠隔地協力施設

- 島田総合病院 [千葉県銚子市]
- 公立相馬総合病院 [福島県相馬市]
- 珠洲市総合病院 [石川県珠洲市]
- 名瀬徳洲会病院 [鹿児島県奄美市]
- 沖永良部徳洲会病院 [鹿児島県大島郡]

募集要項

選考方法	出願書類、採用試験時に施行される小論文、ならびに面接試験を総合し、マッチング順位を決定する。		
出願書類	1.2026年度 初期臨床研修医採用試験願書(1通)【ダウンロード願書(PDF)】 2.2026年度 初期臨床研修医採用試験 志望理由書(1通)【ダウンロード志望理由書(PDF)】 3.履歴書(1通)【ダウンロード履歴書(PDFまたはExcel)】 4.成績証明書(1通) 5.共用試験医学系 CBT 個人別成績表(1通) ※CBTは本試もしくは追試の結果のみ受付けます。再試の結果は受付け出来ません。 6.卒業見込み証明書(既卒者は卒業証明書)(1通) ※本学在学者及び本学既卒者については、6は不要。		
試験日時 出願期間 試験会場	採用試験 (予定)	第1回	試験日／2025年7月19日(土) 試験会場／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
		第2回	試験日／2025年8月23日(土) 試験会場／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
		第3回	試験日／2025年9月7日(日) 試験会場／聖マリアンナ医科大学(合同試験)
		※詳細はホームページをご参照ください。	
試験科目	面接等		
選考方法	面接試験の結果を中心に、小論文・成績証明書などにより総合的に判定します。		

マッチングについての注意

1. 本学では、日本医師臨床研修マッチング協議会のマッチングプログラムに参加し募集を行います。
2. 本学での研修を希望し採用試験を受ける者は、日本医師臨床研修マッチング協議会のマッチングプログラムに参加し、登録する必要があります。また、マッチング協議会の示す運用ルール(規約)に従わなければなりません。
3. 採用試験の結果、成績順位の高い者から合格者を決定し、マッチング協議会へプログラム毎の「希望順位表」を提出します。
4. マッチングの結果、本学のいずれかのプログラムにマッチした場合には、当該研修病院において研修する義務が生じ、取り消しができません。
5. 研修医に内定した者が卒業延期や医師国家試験に不合格となった場合は、内定を取り消します。

処 遇

身 分	研修医(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)
給 与	臨床研修規程に準ずる。 基本給:200,000円/研修医手当:30,000円/月収:約300,000円(宿日直、救急当直等の諸手当込み) 聖マリアンナ医科大学附属病院以外の協力病院で6ヶ月以上の研修を行う場合、研修期間の処遇はその施設の規程に準ずる。
手 当	臨床研修規程に準ずる。 ● 宿直手当(平日):11,000円 ● 宿直手当(土曜日):17,500円 ● 宿直手当(日曜祭日):12,500円 ● 日直手当(日曜祭日):12,500円 ● 通勤手当:教職員給与規程の定める範囲内で支給 ● 地域医療研修:交通費支給
勤務時間	臨床研修規程に準ずる。
休 日	臨床研修規程に準ずる。 日曜日、国民の祝日、開学記念日の休日(10月第2土曜日)、年末年始(12月29日から翌1月3日)(休日勤務あり)
休 暇	臨床研修規程に準ずる。
宿 舎	院内寮:月額22,000円/院外寮:月額30,000円 ※水道代、光熱費は自己負担
研修医室	あり 共有PC(インターネット接続)
健康診断	あり
社会保険	● 日本私立学校振興・共済事業団(健康保険、年金、社会保険制度)加入 ● 労働者災害補償保険加入 ● 医師賠償責任保険 個人加入
学会参加	学会、研究会等への参加は可(診療科との調整による)
そ の 他	● ロッカー、研修医当直室、駐車場あり。 ● 医療安全管理部門を設け、専任の安全管理者を配置している。 ● 医師としての適性を欠く場合など臨床研修を継続することが困難であると認められる場合には、臨床研修管理委員会において審議する。 ● アルバイトおよび副収入は禁止とする。 ※上記内容は、諸般の事情により変更となる場合があります。